

News

<https://www.jmdp.or.jp/>
<https://www.jmdp-donor-special.jp/>

日本骨髄バンク

検索

- 発行2020年7月1日 公益財団法人日本骨髄バンク
 - 発行責任者 小寺良尚(理事長)
 - 編集責任者 五月女忠雄(事務局長)
- 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7F
 TEL 03-5280-8111 FAX 03-5280-0101

CONTENTS

- 1 **2020 ACジャパン支援キャンペーン CMスタート!** プロサッカー選手・早川史哉
- 2・3 体験談特集 I 「患者さんご家族の移植体験記」/3回目の手紙
- 4 体験談特集 II 「患者さんインタビュー」
- 5 体験談特集 III 「ドナーさんインタビュー」
- 6 日本骨髄バンクの現状/コースアンバサダー “私たちがつなぐ未来” II
- 7 コロナ禍への対応Q&A “もし、ドナーになったら”
- 8 住所変更等の手続きは済んでいますか?

日本骨髄バンクの現状 ※2020年5月末現在

ドナー登録者数
52万7,792人

移植数
24,396例

2020年度



「命のサポーターに、登録してください」

ACジャパンによる骨髄バンク支援キャンペーンが1年の休止期間を経て再開しました。出演されたのはプロサッカー選手 早川史哉(アルビレックス新潟所属)。CM撮影の1コマを紹介します。

アンダー世代の日本代表で活躍し、2016年Jリーグにデビューした早川史哉選手。その直後に急性リンパ性白血病を発症し、闘病生活を余儀なくされました。同年、骨髄バンクを紹介して骨髄移植を受け、その後約2年の療養期間を経て、2018年にピッチ復帰を果たしました。

現在、選手活動のかたわら、自らの闘病体験を語る講演会活動を行っています。また2019年には、自著『そして歩き出す サッカーと白血病とアスリート』が、苦しい試練を経て立ち上がったいく姿が記されています。

その早川選手の所属するアルビレックス新潟の本拠地でCM撮影が行われました。

午前中はクラブハウスのグラウンドでの練習風景。天候に合わせてその日の練習メニューが組まれます。チームメイトと一緒に汗を流し、生き



命のサポーターに、登録してください。



▲グラウンドの練習風景を追う

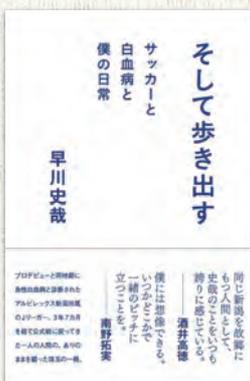


▲撮影の舞台となった雨のスタジアム

生きと元気にボールを追う早川選手の姿を臨場感あふれるシーンとして、複数のカメラで同時撮影しました。

午後は一転して雨模様。クラブハウスから車で約30分の「デンカビッグスワンスタジアム」に場所を移し、早川選手の単独シーンの映像とグラフィック写真、そしてナレーション撮りへ。次第に本降りとなり、設営や調整に時間が過ぎていきます。雨の勢い増す中、芝養生ローラーの強烈なライトが照明代わりに。カメラのファインダーは早川選手の凛とした姿をとらえ、印象的なショットを次々と切り取りました。

7月初旬よりテレビとラジオのCM、そして新聞・ポスター等の広告展開がスタート。躍動感あるCM映像をぜひご覧ください。



▲2019年発行(徳間書店)。収益金の一部は日本骨髄バンクに寄付されます

ACジャパン 2020年度支援キャンペーン



患者さんご家族の 移植体験記



▲初めての入院、生後5か月の時

たので、重大な病気だとは思いませんでした。ある日、乳児湿疹の治療で皮膚科を受診したついでに足裏の紫斑の相談をしたら、小児

生後3か月ぐらいに、抱っこ紐をした時にだけ足の裏に紫斑が。そのほかにも予防接種を受けると広範囲で内出血を起したり、ミルクを飲む量が極端に少ないなど気になるころがありました。ただ、成長具合は「成長曲線」の正常値の範囲内だったので、重大な病気だとは思いませんでした。

Q 白血病とわかったときの状況は？



みやじま りんか
宮島 梨花ちゃん

2017年福岡県生まれ。2018年に若年性骨髄単球性白血病を発症し、同年骨髄バンクを介して骨髄移植を受ける。

まだ0歳にもかかわらず、「若年性骨髄単球性白血病」という100万人に1人といわれる難病と診断された梨花ちゃん。1歳のとき骨髄バンクを介して骨髄移植を受け、今ではすっかり元気になりました。お母さまの宮島知子さんがその貴重な体験を語ってくださいました。

科に行くよう言われました。小児科で採血したところ「白血球が多く血小板が少ないので、念のため総合病院に行くように」と。この段階では「入院レベルではない」とのことだったので、安心していました。ところが総合病院で白血病の疑いがあると判明し、大病院に転院。明るい未来を想像していた矢先に、いきなり奈落の底につき落とされたような思いでした。駆けつけた家族と、幼い娘を抱き抱え、全員で泣きました。

Q わかった病名と治療の過程は？

100万人に1人の「若年性骨髄単球性白血病」と診断されました。タイプがいくつもあり、予後不良の遺伝子エラーである。研究中の病気であり、治療方法は造血幹細胞移植のみと言われました。まずは比較的軽い抗がん剤を大病院で1クール。2クールからは小児がん拠点病院に転院し、3クール目を終えたところで今後の治療方針の話があり、2018年8月末頃に骨髄バンクに患者登録。6クール目を終えて同年12月骨髄移植に至りました。HLA1座不一致のドナーの方のうち、お話を進めることができたのが1人のみで、現実の厳しさ

治療方法は骨髄移植しかないだろうとのことでした。この子に兄弟姉妹はなく、両親で適合しなければ骨髄バンクで探すことになる。ドナーが見つかるかとても不安でした。

科に行くよう言われました。小児科で採血したところ「白血球が多く血小板が少ないので、念のため総合病院に行くように」と。この段階では「入院レベルではない」とのことだったので、安心していました。ところが総合病院で白血病の疑いがあると判明し、大病院に転院。明るい未来を想像していた矢先に、いきなり奈落の底につき落とされたような思いでした。駆けつけた家族と、幼い娘を抱き抱え、全員で泣きました。

Q 治療で一番辛かったのは？



▲移植後、触るだけで抜け落ちる髪の毛

移植した翌日に、血小板アレルギーがひどく、全身に発疹と咳や嘔吐が出て、この先もこういうことが続くのかと思つて心配しました。そして前処置の影響から、触っただけで髪の毛がバツサリ抜け落ち、変わり果てた娘の姿にショックを受けました。朝起きたら大量の髪の毛が散らばっていてドラマのような光景でした。娘は24時間点滴に繋がれ、一畳程のベッド上での生活がずっと続いていたので辛かったと思います。まだ1歳になつたばかりで言葉も話せず、キツイとかこうして欲しいとか言えないので、表情をみるしかありませんでした。

Q 周囲からはどんなサポートがありましたか？



▲ドナーさんの骨髄液が点滴で体内へ

家族は、24時間娘の付き添いをする私にお弁当を作ってきてくれたり、ファミリーハウスに泊まって一緒に付き添いをしてくれたり、みんなで協力して乗り越えました。また、離れて過ごす娘のために毎日のようにテレビ電話で話したり、親戚や友達がお見舞いに来てくれ

(※自身の造血幹細胞を壊すため、移植の約1~2週間前から抗がん剤投与や放射線照射を受けること)

Q 骨髄液が届いた時、どう思いましたか？

移植当日、病院に真っ赤な骨髄液が届いたと聞いたときは本当につれしくて、やっと希望が見えてきたと思えました。この日を迎えるまでドナーさんは娘を助けるために最善を尽くしてくれて、いろんな思いがこみ上げて涙が出そうになりました。移植日を無事に迎えられる本当に良かったと思います。



▲医療スタッフから寄せ書きのサプライズ

たり、いつも誰かがそばにいる環境で元気づけられました。家族以外の協力も有り難かったです。娘が発症した時、私は育児休業中で、1歳の誕生日が過ぎてからは介護休暇を取得。後に看病に専念するため退職しました。また、病気を機に転居し、主人も社内でも動させてもらいました。夫婦共に看病しやすい環境にしてもらいました。病院で娘が1歳の誕生日を迎えた日、医師と看護師さんたちから寄せ書きのサプライズが入ったその日の出来事ですごく勇気づけられました。

(前項より)

まずはドナーさんの幹細胞が生着することに願いをかけました。一度取り出した骨髄液が他人の身体に入り、やがて生着し正常な造血機能を果たすというのがすごいなと思いました。白血病になったのはとても残念なことですが、医療が進歩している今の時代でよかったです。

移植を受けてからの 梨花ちゃんの様子は？

入院中はぐったりしているよりも、ベッド上で起き上がって遊ぶほど元気でした。移植後は思ったよりも早く個室から出られるようになって、病棟で歩行練習をして体力をつけていきました。

退院後、娘の成長スピードは驚くほど早く、元気に歩けるようになってたり、高い所に上れるようになってたり、好奇心旺盛でいろいろなものにどんどん興味を



▲たくさんの点滴につながれておもちゃで遊ぶ姿

持ってくれるようになりました。何より家庭が明るくなったことが一番でした。入院中は痩せていましたが、退院して好きなご飯を食べるようになって、少しずつ体重が増えてきました。爪も生え変わったのにはビックリでした。

闘病期間の約9か月間はとても濃い入院生活でした。生きていることが当たり前ではなく、この子はドナーさんや先生方をはじめ、たくさんの方々によって



▲家族に囲まれて2歳の誕生日

助けられた大切な方だと、かけがえのない重みを感じています。

前処置が1歳の誕生日から始まったこともあり、誕生日を迎える毎に「生きていてくれてありがとう」と当時を振り返り、今年も1年元気に過ごせていることに感謝しています。もし病気がなかったらこんなことは思わなかったかも知れません。

第2の誕生日(移植日)もできたので、お祝い日が1つ増えました。

移植の経験を通じて 思うことは？

患者とドナーは、移植後1年以内に2回まで手紙を出すことができます。私たちも退院してからすぐに退院報告とお礼のメッセージを送りました。ドナーさんから返事をいただいたときはとても嬉しくて感動しました。素敵な方に縁があり、今でも



▲写真提供：一般社団法人
佐賀バルーンフェスタ組織委員会



▲佐賀バルーンフェスタの骨髄バンクブース

そのお手紙を読むと涙が出そうになります。顔も知らない娘のために貴重な時間を割いて骨髄提供していただき、本当にありがとうございます。娘が大きくなったら、ドナーさんからの手紙を渡そうと思っています。

移植で入院する1週間前のことです。初めて行った「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」の会場で骨髄バンクのブースを見つめました。何か運命を感じて自然と涙が溢れました。こういうPR活動で少しでも多くの方に知っていただき、ドナー登録者が増えてくれたらと思います。ドナーさんに助けられ、今度は私たちが恩返しをする番です。娘の退院後、会場に行き募金をしてきました。私たちにとって毎年恒例行事になりそうです。

(書面インタビューをもとに構成しました)

3回目の手紙 患者さんから ドナーさんへ

2016年に骨髄バンクを介して骨髄移植を受けたTさん。その後別の血液疾患を発症し、その闘病のため、2回目の手紙を届けることはできませんでした。時を経てドナーさんへ感謝の思いをつづります。

再生不良性貧血で、骨髄バンクを通じて骨髄移植を受けました。1回目の手紙は、ドナーさんが決まり、嬉しくてすぐに出しました。そして次に手紙を出すのは、私が元気になった姿を伝えたいから1年後にしよう、そう心に決めていたのですが、その思いはかないませんでした。

なぜならば、翌年に別の血液疾患を発症し、苦しい治療が終わった頃には、無常にも手紙を出せる期限が過ぎていたからです。それから、ドナーさんに手紙を出せなかった「思い」は日に日に大きくなっていきました。そうだ、骨髄バンクニュースに載ればドナーさんが見てくれるのでは。

ドナーさんの優しさと勇氣には、とても感謝してもしきれません。ドナーさんが骨髄を提供してくれたおかげで、私は今も元気に暮らしています。復職もしました。そして何より、優しさや思いやりをとても強く感じるようになってきました。

2度も血液の大病から立ち上がらせてくれたドナーさんの骨髄、物凄い力です。本当にありがとうございます。3回目の手紙ではなく、とても遅い2回目の手紙となってしまいましたが、この「思い」がどうかドナーさんに届きますように。

患者さん インタビュー



まつおか いっせい
松岡 一成さん

スリーエックススリー
3×3プロバスケットボール選手
2017年骨髄バンクを介して骨髄移植を受ける

PROFILE

2015年25歳のとき急性骨髄性白血病を発症。化学療法で回復も翌年11月に再発し、2017年4月骨髄バンクを介して骨髄移植。現在、新潟県三条市の地域おこし協力隊として移住し、3人制プロバスケットボール「SANJO BEATERS. EXE(サンジョービーターズ ドットエグゼ)」の選手として活躍中。骨髄バンクボランティアとして説明員や講演活動も行う。

骨髄移植を経て社会復帰後、バスケットボールの道へ。「助かっていたのちで人の役に立つことをしたい」と語る松岡さんにお話を伺いました。



Q 移植当時はどんな状況でしたか？
再発後は抗がん剤が効かないため、移植をすることに。1座不一致ドナーの

Q 病気を発症したときの状況は？

小3の頃から大学までずっとバスケットをやっていました。大学卒業の頃、プロバスケットボールの所属チームからオファーがありました。将来のことを考えて都内の広告代理店に就職しました。屋外広告専門の会社で、厳しい現場が続いていた2015年2月頃、土日になると38度以上の発熱が毎週続き、鼻血が止まらないことも続いて受診。かぜといわれましたが、貧血がひどく通勤もままならなくなり、大学時代も通勤でもいつも目にしてきた大きな病院へ行き、即入院。「良く歩いてきたね」と言われました。急性骨髄性白血病と診断されたのが5月です。8割くらい抗がん剤で治るタイプと言われました。

Q 闘病を経て、再びバスケットを始めたいきさつは？
闘病中考えていたことですか？「治ったら何がしたいか」です。いろんなことが頭に浮かんできました。再発したとき、もともと本気でバスケットをしておけばよかったとすぐ後悔しました。今Bリーグで活躍しているのは大学のとき一緒にプレーしていたメンバーです。うらやましいなという気持ちと、一度は死を覚悟するほどの極限状況を経験して、もし復帰したら本当にやり

方は5人になっていて、そのうちの1人に提供していただくことになりました。ドナーさんの仕事の都合により、翌2017年4月に骨髄移植をしました。移植前の前処置では通常放射線照射を行います。主治医の先生の判断で実施しませんでした。僕は先生を信頼して、先生から言われたことだけを守ってきました。「〇〇が効くらしい」という母の言葉にも耳を貸さず、無知こそが正義だと思っていました。

移植後のGVHD(移植片対宿主病。ドナーのリンパ球が患者の細胞を攻撃する免疫作用)は、想像をはるかに超えて地獄でした。体がつらすぎて寝られない。でも意識があるうちは大丈夫だと耐えました。

社会人からでも、病気をしても、プロは目指せる

Q 三条ビーターズではどんな活動を？
三条市では、2015年に地域おこし協力隊「NPOソーシャルファームさん」が設立され、その一環で3人制プロバスケットチームも誘致されました。現在は試合遠征のかたわら、小学校の農業体験プログラムへの参加など、「半農半バスケット」といった感じ。3人制は通常のコート半分でゴールが1つ。場所をとらず、年齢も性別も問わず、体力さえあれば誰でも気軽にできるスポーツです。試合時間は10分で21ポイント先取すれば勝ち。攻守の切り替



▲試合中は当たりも激しいが人気のスポーツ

えが早くスピードで、ストリート系クロススポーツとして人気が高まり、今度の東京五輪から正式種目になっています。
この下田地区(三條ビーターズの本拠地)で、3人制のプロチームがすっかり根付くようにがんばろうと思います。もう一回5人制のプロチームにチャレンジしてもいいかなという気持ちもあります。自分は元々プロのアスリートで闘病から復帰したわけではないけれど、「社会人になってからでも、病気をしても、プロを目指す夢はかなえられる」ということを伝えていきたいです。

Q 移植経験者として思うことは？

昨年(2019年)、妹が骨髄バンクで提供しました。「お兄ちゃんを助けてくれたから協力したい」と言っていたと母から聞いてうれしかったです。僕は今、ドナーさんのおかげでこうしていられることへの感謝と、骨髄移植で元気になった自分の姿を多くの人に知ってもらいたいと、講演会活動にも参加しています。

患者にとって、ドナー登録者の人数はモチベーションになります。生きるための希望の数値です。適合者が何人いたとしても、必ず誰かが提供してくれるわけではない。でも、もし適合通知を受け取ったとしたら、どういう気持ちでバンクに登録したかを見つめ直してもらおうことで、ドナーさん自身にとっても、生きる希望につながっていくのではないかと思います。

体験談特集

ドナーさん イタビュー



みずたに
水谷 さるころさん

マンガ家・
イラストレーター
2011年ドナー登録
2018年骨髄提供



▲第1話より

骨髄採取では 大変な思いをしたそうですね？

まず3回やっても麻酔薬が入らず、手術室に緊張が走りました。4回目でやっと成功。覚醒後は麻酔の副作用がひどく、これは若い女性に多いそうです。それから採取後、腰の右側に筋肉痛のような痛みが出て、3か月間続きました。担当医の先生に聞いたら、「骨髄採取は腰の右側と左側の部分に針を刺して造血幹細胞を吸引しますが、右側は幹細胞の吸引が鈍くて、必要な細胞数を確保するために針刺しの回数が多くなったからかもしれない」と言われました。それに比べて、前年に

骨髄提供を経験した夫の場合は何もトラブルはなく、痛みは1週間位で消失しました。

こんな痛い思いをするなら、もうしたくない？

自分は特殊かもしれないけれど、この「大変なあ」という状況が面白い。好奇心が強いので、知らなかったことを体験するのが面白いんです。もともと血液が出ていくのを見るのが好きで、献血が趣味。しかも全血献血が大好きです。採取ではいろいろあったけれど、誰かの役に立ったという達成感に比べたら、マイナートラブルはよもやま話。思ったよりは大変でしたが、もうやりたくないとは全く思いません。



▲第2話より

PROFILE

自身の実体験をもとにした数々のコミックエッセイで人気。献血が昂じて骨髄ドナーとなり、夫も骨髄ドナー経験者という珍しい夫婦の体験談を描いた『骨髄ドナーやりました!』(少年画報社)を2020年に発刊。

知られざるドナー経験者のリアルな現実をマンガで描いた『骨髄ドナーやりました!』。昨年10月からのマンガアプリの連載を終え、2020年7月に単行本化。著者の水谷さんにお話を伺いました。



ドナーは健康なだけで人の役に立てる。そんなのほかにない



もし順調だったら、マンガにしなかった？

本当は、「こんなに大変だったと描いたら、ドナーになる人がいなくなってしまうのでは?」と思って、描かないほうが良いと思ったんです。でも周りでぜひ描いたほうが良いと言う声が多かったので、描くことにしました。知らないことのほうが多いから、逆に知りたいという人はいっぱいいますね。マンガを描くと決めたら、体験したマイナートラブルはネタの宝庫になりました。

ドナーは健康なだけで人の役に立てる。そんなのほかにない、最高だと、ポジティブな気持ちになれる。世のため人のためというよりは、自分の健康が人の役に立つことが楽しい。健康に生まれたこの体を使って人の役に立てて、喜ばれたら自分も嬉しいですね。役に立つところに達成感があるんじゃないかな。➔



▲第6話より

献血が好きなのもそうですね。血管をほめられるのも私の才能。へこんだり、仕事でうまくいかないことがあっても、こっちの才能でほめてもらおうと思える。友達には「献血に行く则自分の健康が役に立って、仮眠もできて、やさしくしてくれるよ」と言っています。

若い人にもっと骨髄バンクに興味をもってもらおうとしたら？

達成感とか、ほめられる感じを出すのがいいかも。ポジティブな自己評価をアップできるというのが献血の魅力。私はどこかで失敗しても、献血すれば人の役に立って自己評価が上がります。ドナーもその延長です。献血したりドナー登録したりすると、ネットで「偽善者」とか「自分が気持ちよくなりたいだけだろう」という声があるそうですが、「その何が悪い?おまえも気持ちよくなっちゃえよ」という言葉しか返せ

ない。「一緒に気持ちよくなろうぜ〜」と言いたい。「すごくいいことをしましょう」だとハードルが高いけど、提供できる健康な体をしていることをポジティブにとらえられると意識が変わるのでは。

提供を通じて思うことは？

私はドナーになったことを面白いと受け取ったので、面白半分でもいいんじゃないかな。提供後に厚労大臣の感謝状をもらったのはインパクトありました。好奇心があるから、いろんなことが見えてよかったです。同じ骨髄提供経験者として夫との比較対照もできました。ひと言でいえば、人が喜んでくれて自分もうれしい。もう1回適合通知がきたらですか?次は末梢血幹細胞提供がしたいです。そしてマンガの続編を描きます(笑)!



▲第13話より



▲第12話より

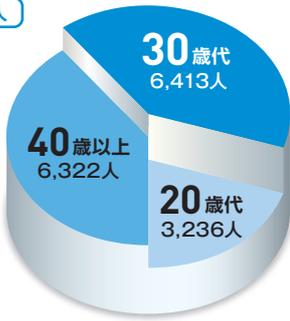
日本骨髄バンクの現状

非血縁者間骨髄移植および末梢血幹細胞移植の状況

2020年3月末現在

提供者の状況 年齢・男女

男性 15,971人



24,245件

※採取されたものの移植に至らなかった11例が含まれています。

女性 8,274人



コーディネート状況

(1992年から2020年3月までの累計)



827,854件

ドナー登録者累計数

323,852件

HLA適合報告ドナー人数



114,474件

確認検査済みドナー人数

28,208件

最終同意面談人数



24,050件

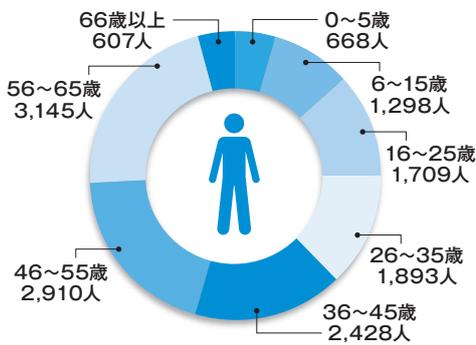
採取実施人数



※海外ドナー195人を除いた国内の数

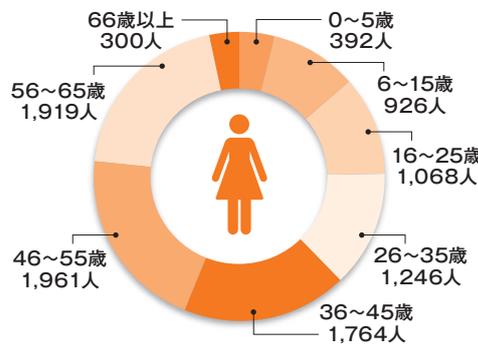
移植患者の状況 年齢・男女

男性 14,658人



24,234件

女性 9,576人



ユースアンバサダー

“私たちがつなぐ未来”II



動画「18歳になったので、献血ルームでドナー登録してきました」を公開



ユースアンバサダー(以下YA)の佐藤柚輝です。18歳の誕生日を迎え、さっそくドナー登録してきました。今回は東京都赤十字血液センター・都庁献血ルームさんにご協力いただき、ドナー登録の流れを紹介する動画も併せて撮影しました。ドナー登録の所要時間は撮影を除くと15分ほど。いつもの献血と同じ流れでできたので、とても簡単だと感じました。友人にもぜひ伝えたいと思います。今回撮影した動画は骨髄バンク公式YouTubeで公開しています。ぜひご覧ください!

初めての作業でしたが、貢献できてうれしいです!



動画の編集担当のYA 木目田君

昭和鉄道高校(東京都)「命の授業」

YAの坂野遼太です。日頃のYA活動の中で、自分の在籍する高校でも講演会を行ってみたいと思い、卒業間近の2月、「命の授業」として講演会を開催しました。参加者は3学年の生徒と教職員の約210名。まずは「正しく知ってもらう」ことを目標に、本校在学中に白血病を発症し骨髄移植を経験したOBの方による体験談、骨髄バンク職員によるクイズや解説を行いました。若い世代のドナー登録者を増やすために、学校での講演会活動を今後も後押ししていきたいです。



もし、ドナーになったら？



日頃より、ドナー登録者の皆さまにはご協力いただき心より御礼申し上げます。
世界的規模でコロナ禍の影響が及ぶ中、ドナー候補者となられた皆さまおよびご家族におかれましては、患者さん救命のため温かいお気持ちと多大なお力添えをいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。まだ先行きが見えない状況ですが、ドナーの方・ご家族の健康と安全を守るため、日本骨髄バンクでは医療機関と連携を図り、感染防止対策に努めながら、慎重にコーディネートを進めております。
今後の動向に応じて対応方針が変わることもありますが、コーディネート中のドナーさんでご不明な点がありましたら、担当コーディネーターまたは担当地区事務局にお問い合わせください。
以下、ドナーの方から多く寄せられた質問をご紹介します。(※5月末現在の情報に基づく)

Q1 コロナ禍の中でも移植を受けなければいけない患者さんはいるの？

A1 白血病などで移植を必要とする患者さんは今も変わらずいらっやいます。骨髄バンクを介した移植以外に臍帯血移植やHLA不適合血縁者間移植も可能ですが、疾患や個々の事情によっては、なお骨髄バンクドナーからの移植を強く望む患者さんが多くおられます。これらの患者さんにとって骨髄・末梢血幹細胞移植は緊急性を持つものです。

Q2 バンクの認定施設が地域のコロナ治療施設となっているが感染の心配はないの？

A2 新型コロナウイルスは未だ治療法の確立していない未知の感染症であることから、どんな施設であっても絶対に感染しないとは言いきれません。そのため施設内でコロナ治療場所とドナーさんの出入りするスペースを分けて、極力ドナーさんの感染リスクを減らす対応をしたり、あるいは施設側の判断によりドナーさんの受け入れを控えることもあります。面談、採取等の施設について少しでもご心配な場合には、事前に担当コーディネーターにご相談ください。

Q3 家族が遠方にいます。感染の心配もあり、最終同意面談では家族を呼び寄せるとか、自分が帰省するのは控えたいのですが？

A3 必要に応じて、ドナーさんとご家族を別々に面談するという形での調整も可能です。また、ご家族のコロナ感染が心配で病院にお越しいただけない場合などは、オンラインでの同意確認の方法も検討しています。

Q4 提供前にコロナの感染を調べる検査は行っているの？

A4 採取予定ドナーに対して、一部の採取施設では入院時等にPCR検査やCT検査を実施しています。ただし、これらの検査を実施するかどうかは採取施設側の判断になります。

今だからこそ知っておきたいよね！



INFORMATION

骨髄バンク推進全国大会、現地開催中止のお知らせ

毎年、世界骨髄バンクドナーデー(9月第3土曜)に開催している「骨髄バンク推進全国大会」ですが、今年は皆様をお招きしての式典やイベントを取りやめます。
直接お会いできないのは大変残念ですが、新型コロナウイルスの感染リスクを慎重に考慮した結果、今回は多くの方々に「ありがとう」と「希望」を届けられるビデオメッセージ等を準備しております。どうぞお楽しみに。

2021年 骨髄バンクチャリティーカレンダー販売中

日本骨髄バンクは2021年に設立30周年を迎えます。それを記念し、今回は移植経験者と提供経験者のみなさま12人の体験談(抜粋)を特集。いずれも骨髄バンクスペシャルサイト「みんなの声」にご登場の方々です。収益金の一部は日本骨髄バンクに寄付されます。
カレンダーは下記サイト、またはamazon.co.jpでお求めいただけます。



名入れ
できます

uchiwayaryo ⇒ <https://uchiwayaryo.thebase.in>
(詳しくは、株式会社紙工芸やまだ TEL:0877-75-6625 担当/渡辺まで)

“LINE”はじめました

ドナー登録者の方、これから登録をお考えの方に向けて、新しい情報ツールとしてスタート。ぜひ友だち追加してね！



大切な
お知らせです！

ドナー登録者の方へ

ご確認
お忘れなく！



住所変更等の手続きは済んでいますか？

住所や電話番号等が変更になったら、適合通知をお届けできなくなります。
お早目に下記の方法で **日本赤十字社** にお知らせください。

1 ウェブサイトで

造血幹細胞移植情報サービス



【登録内容変更ページ】

https://trk.bmdc.jrc.or.jp/donor_web/

bmdc

検索

アクセスコードも
必要になります！



1. ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。
※アクセスコードは、前号(55号)の宛名台紙および登録確認書等に印字されています。
※アクセスコードがわからない場合や使えない場合は、②の方法で手続きください。
2. 1で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、一緒に届くワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。
3. 変更する項目を入力・確認して手続完了!!
※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

2 電話で

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。
※電話受付は平日(月～金)の9:00～17:00です。

北海道ブロック血液センター 011-613-6683

管轄地域 北海道

東北ブロック血液センター 022-354-7083

管轄地域 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越ブロック血液センター 03-5534-7534

管轄地域 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター 0561-85-4298

管轄地域 富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター 072-643-1173

管轄地域 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中四国ブロック血液センター 082-241-1614

管轄地域 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター 0942-31-8974

管轄地域 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

3 献血ルームで

最寄りの献血ルームの受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただけます。後日、お近くの日本赤十字社ブロック血液センターからお電話で変更内容について確認させていただく場合があります。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記①のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

大事なことなので
お早めに！



ご注意ください

ドナー登録者の登録情報は **日本赤十字社** へ。

骨髄・末梢血幹細胞の提供に関するお問い合わせ等は「日本骨髄バンク」へお願いします。

骨髓バンクが存続するためには、皆さまのご支援が必要です。

コロナ禍 献血、骨髓移植に打撃

外出自粛、「協力辞退」3000件超す

新型コロナウイルスの感染拡大により、輸血用血液や、移植に用いられる骨髓液を患者に届ける「命の橋渡し」が苦境に立たされている。外出自粛で人の動きが停滞する中、日本赤十字社は血液の安定供給を維持するため献血への協力を懸命に呼び掛ける。日本骨髓バンクは、新型コロナウイルス患者の受け入れや院内感染を心配する医療現場で、骨髓の提供や移植を安全かつ確実に実施しようと手を尽くしている。

「献血協力者の深刻な減少が続いています！」
「こんなタイトルの呼び掛けが日赤のホームページに載ったのは3月2日だった。イベントの中止や延期、企業の在宅勤務措置などが相次ぎ、予定していた献血会の実施が難しくなってきた。」

イベント中止受け

しかし、2月18日に京都府で開かれた感染症対策本部会合で安益直三首相がイベントの開催時期見直しに言及、さらに2月25日、患者が増え続けている地域での外出自粛などを内容とする政府の基本方針が決定すると、献血者数が急減した。

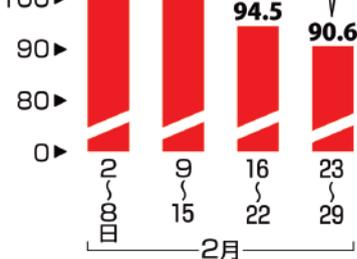
国内では毎日3千人余りの患者が輸血を受け、1日当たり約1万3千人の献血協力が必要とされる。献血は各地に常設された献血ルームと、企業や学校などに献血バスが出張して開かれる。

25日 国が対策の基本方針決定
18日 国の対策本部でイベントの時期見直しに言及

献血血液(赤血球)の確保状況

※日赤の資料を基に作製

実績(対計画比)



日赤と骨髓バンク 安定供給へ懸命

「在庫量は見通せず」
日赤によると、3月のホームページでの呼び掛け以降、危機的状況をメディアが報じた効果もあり、血液の在庫量は一時的に回復したという。だがその後、緊急事態宣言が出され、対象地域も全国に拡大された。今後は全く見通せない。

「今まで以上の外出自粛が見込まれ、献血ルームや街頭での協力者も非常に少なくなる」と懸念され、血液の安定供給は日赤の使命。可能な限りの対応を進めていく」と広報担当者は話す。

その日赤の献血ルームや献血会などを利用してドナー登録を受け付けている日本骨髓バンク。小島勝広報道部長は「3月までの新規登録者数に影響はないが、今後は減るだろう」と予想する。

「移植を待つ患者さんが増えている。新型コロナウイルスがまん延しても、橋渡しは止められません」と小島さんは話す。

緊急避難の対応も折原勝己ドナーコーディネーターによると、骨髓採取を担当する施設が院内感染防止のため他県からのドナーを受け入れられなかったり、ドナーの入院時にPCR検査や胸部のコンピューター断層撮影(CT)を行ったりするケースが増えている。また、院内感染発生のため他施設で採取せざるを得なかったり、ドナー自身が不安を感じ提供を中止したりしたケースも報告されている。

西日本新聞2020年5月11日朝刊 ※記事掲載許諾済み(無断転載・複写不可)

ご寄付のお願い

骨髓バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人へ寄付した場合、税制上の優遇措置が受けられます。皆さまの善意をお寄せください。

寄付金の使途

提供・移植に向けての連絡調整、ドナー登録会の開催、普及啓発用の資料制作等の費用として活かされています。

移植を待つ患者さんのために・・・貴重なご寄付で可能になるのは

(たとえば)



賛助会員入会のお願い

骨髓バンク賛助会員とは、毎年1回、定額(個人1口10,000円、法人1口100,000円)のご寄付を継続して行なっていただく制度です。専用払込取扱票をお送りしますので、当法人募金担当までご連絡ください。

骨髓バンク社会貢献型カードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髓バンクに寄付される社会貢献型カード(骨髓バンクNICOSVISAカード)。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーターカード、毎年1万円を寄付する特別会員があります(初年度年会費無料)。

入会申込書は募金フリーダイヤルへご請求ください。

① 郵便振替

ゆうちょ銀行・郵便局の手数料が無料になる専用振込用紙をご利用いただけます。お手元になければお送りします。

② 銀行振込

みずほ銀行間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。

③ お電話で募金(クレジットカード)

カードをお手元にご用意のうえ、お電話ください。お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。

④ インターネットから募金(クレジットカード、楽天銀行)

① インターネットクレジットカード募金 ※毎月の寄付も選択できます。
② 楽天銀行 ※24時間入金が可能な楽天銀行をご利用いただけます(手数料無料)。なお、事前に口座の開設が必要です。

詳しくは、https://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/internet.html

骨髓バンクインターネット募金 検索

⑤ 口座自動引き落としによるご寄付

お持ちの金融機関から自動にご寄付の引き落としができます。資料をお送りします。

お問い合わせ・資料請求は募金フリーダイヤルまでお電話ください。皆さまの温かいご支援をお待ちしています。

募金フリーダイヤル ☎ 0120-377-465 (平日 9:00～17:30)